



校報しのめ 11月号

令和7年11月7日 松山市立東雲小学校



『人生は、よろこばせごっこ』

校長 山内 望

「人間が一番うれしいことはなんだろう？長い間、ぼくは考えてきた。そして結局、人が一番うれしいのは、人をよろこばせることだということがわかりました。実に単純なことです。ひとはひとを喜ばせることが一番うれしい。」

やなせたかし 「やなせたかし 明日をひらくことば」PHP研究所 2012年 抜粋

この言葉を知ってから、私も「人を喜ばせられる自分でありたい」と強く思うようになりました。自分の得意なことで、周りの人を喜ばせられたら幸せな気分になることでしょう。本校の教育目標「自分のよさを生かし、つながり合いながら、ともに伸びる東雲っ子の育成」にも通じる大切にしたい考え方です。

「自分には得意なこと（よさ）がない。」と言われる方もいらっしゃるかもしれません（気付いていないだけで、本当はあるはずです）。そのような方でも誰かを喜ばせることができます。それは、「感謝の言葉」を述べることです。心のこもった「ありがとう」の一言が、相手の喜びに変わります。「よろこばせごっこ」の第一歩として、まずは親子や家族の中で始めてみてはどうでしょうか。

11月6日（木）は、5年生が本校の代表として、松山市連合音楽会に参加します。また、12日（水）は児童向け校内音楽会、14日（金）は保護者向け校内音楽会を行います。このような行事を通じてお子様が成長できるよう、事前・事後の温かな言葉掛け（「よろこばせごっこ」）をお願いいたします。

全国学力・学習調査の結果について

本調査は、全国的な児童生徒の学力や学習状況の把握・分析と、学校における学習指導の充実や学習状況の改善を目的に、毎年4月、小学6年生と中学3年生を対象として全国一斉に実施されています。本校の調査は4月17日に国語・算数・理科の3教科が行われ、その結果が公表されました。本校の学力に関する調査結果では、国語・算数・理科いずれの教科においても平均正答率が全国及び県を上回りました。

質問紙調査による学習状況の結果からは、「授業の内容がよく分かる」という項目について、肯定的な回答をした児童が多かったです。また、「自分で学び方を考え、工夫することができている」という項目に関しても肯定的な回答が多く、学習への意欲的な取組が伺えました。

本校では、児童一人一人が分かる授業を目指し、朝の時間（8:00～8:15）に各曜日様々な取組をしています。そのうちの 하나가、隔週水曜日に行われている「わくわくトークタイム」です。子どもたちの「話す力」と「聞く力」を育むことを目的に、毎回テーマを設定して楽しい話し合い活動を行っています。テーマは、季節の出来事や身近な話題など、子どもたちが自分の考えや経験を自然に語りたくなる内容です。この話し合いには「正解」はなく、どの意見も大切にされます。活動中は、友達の話を最後まで聞くこと、相手の意見を受け止めて話をつなげることなど、コミュニケーションの基本を意識しながら取り組んでいます。わずか15分という短い時間ですが、継続的に行うことで、子どもたちの中に「話し合うことって楽しい」という気持ちが少しずつ育っています。

毎日の授業を大切にしながら、日々の細かな取組を今後も続けていくことこそが、学力の定着・向上につながります。

各家庭でも引き続き、学校での様子を話題にいただければ幸いです。何か気になることがありましたら、遠慮なく学校にご相談ください。「学校・地域・家庭と共に」歩んでいきたいと思っています。